研究成果報告書 科学研究費助成事業

今和 6 年 6 月 1 2 日現在

機関番号: 14501

研究種目: 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))

研究期間: 2018~2023

課題番号: 18KK0033

研究課題名(和文)人口減少時代における東アジア4法域(日韓台中)の土地収用制度の比較研究

研究課題名(英文)Comparative Study of Land Expropriation in 4 Jurisdictions in East Asia in an Era of Declining Population

研究代表者

角松 生史(Kadomatsu, Narufumi)

神戸大学・法学研究科・教授

研究者番号:90242049

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 11,400,000円

研究成果の概要(和文):土地の「過剰利用」をコントロールする仕組みを中心としていた土地法は,人口減少を背景とする「過少利用」状況に対する対応に困難を抱えている。私人の所有地を「公共の利益」のために「正当な補償」の下に用いる仕組みである土地収用制度も例外でない。本研究は,人口減少が土地収用制度にもたらす諸課題について,特に「私益収用」と「損失補償」に焦点を当て、東アジア4法域(日本・韓国・台湾・中国)の比較法的考察を行った。文献調査・研究会開催に加えて韓国・台湾・中国の現地調査を行い、成果を国際ワークショップ及び英文図書・雑誌特集等で公表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義本研究は、人口減少と「過少利用」を背景として、土地収用制度とその背景にある法理論に生じている/今後生じるべき変容について、東アジア4法域の比較研究を行った点において、学術的独自性を有している。現地調査を背景として、国際共著の英文図書・国際学会・国際シンポジウム等で成果を公表することによって、学術 的・社会的意義を有する研究活動を展開することができた。

研究成果の概要(英文): Land law, which has focused on mechanisms to control the "overuse" of land, is finding it difficult to address the situation of "underuse" in the context of a declining population. The system of land expropriation, a mechanism for using land owned by private parties for the "public interest" under "just compensation," is no exception. This study examined the various challenges that population decline poses to the legal system of land expropriation, with particular focus on "expropriation for private interest" and "loss compensation," and attempted to provide a comparative legal study of four East Asian jurisdictions (Japan, Korea, Taiwan, and China). In addition to literature reviews and research meetings, we conducted field research in Korea. Taiwan, and China, and C Korea, Taiwan, and China, and published the results in international workshops, an English-language book, and a special journal issue.

研究分野: 行政法、都市・土地法

キーワード: 土地収用 東アジア 韓国 台湾 中国

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

現在日本では、人口減少時代を背景とした様々な社会的問題への法的対応が喫緊の課題となっている。各地方公共団体の条例や国の空家対策特別措置法に示されるような空き家問題の展開、近年急速に注目を浴びた所有者不明土地問題などが典型である。土地の「過剰利用」をコントロールする仕組みを中心としていた土地法は、人口減少を背景とする「過少利用」状況に対する対応に困難を抱えている。

(私益収用) 私人の所有地を「公共の利益」のために「正当な補償」の下に用いる仕組みである土地収用制度も、人口減少時代の課題に直面する。2018 年 3 月に閣議決定された所有者不明土地利用円滑化特別措法案は、一定の所有者不明土地について、土地収用法の収用適格事業に当たらない場合であっても、知事が公益性を確認した場合には 10 年間を上限とする利用権を設定する「地域福利増進事業」の仕組みを設けている。所有権ではなく利用権の取得である点で収用とは異なるが、伝統的な「公共の利益」に当たらない事業のために私有地を強制的に利用できるかという理論的問題が浮上する。

(損失補償) 人口減少は,土地収用における損失補償との関係でも,困難な理論的・実際的問題を投げかける。例えば空き家に対する行政的措置は,さまざまなステークホルダーのミクロ的利害関係空き家所有者と近隣住民,建物所有者と敷地所有者に直接的に影響を与える。利害関係の多面的調整の必要性が,損失補償の算定に影響を及ぼすことになる。また,人口減少時代への対応としての「選択と集中」は,人々の生活基盤としてのコミュニティの重要性を提起している。空き家や所有者不明土地は別段,居住者については,土地収用の発動により共同体から切り離され生活基盤を失う人々への補償のあり方が問題となる。

2.研究の目的

東アジア4法域は,中国の影響を受けた一定の文化的共通性を有し,また,近代以降の西洋法の継受という共通の法伝統を有し、植民地支配の不幸な歴史が関連してはいるが、法制度を相互参照しつ つ発展を遂げてきた。

本研究は、人口減少が土地収用制度にもたらす諸課題について、東アジア4法域(日本・韓国・台湾・中国)における比較法的考察を行うことを目的とする。特にこれら地域において共通の法的課題となっている「私益収用」と「損失補償」に焦点を当て、土地収用制度全体及び土地法・都市法の仕組みとの関連に位置付けて比較する。

3.研究の方法

研究代表者及び(1)海外共同研究者(2)研究分担者(3)若手研究協力者からなる研究組織を韓国班・台湾班・中国班に編成し、文献調査・研究会開催に加えて以下の現地調査を行った。

韓国:済州島西帰浦市イェレ洞リゾート型住居団地予定地への現地調査(2019 年 11 月(補充調査:2022 年 12 月。参加者: 兪珍式教授(全北大学校)、高村学人、小野博司、髙希麗、ソヌリ、角松) 台湾:内政部地政司及び内政部営建署におけるヒアリング調査(2023 年 1 月。参加者: 陳立夫教授・李明芝助理教授(国立政治大学))

中国:上海黄浦第一房屋徴収服務事務所における張国樑氏へのヒアリング調査(2023 年 11 月。 参加者: 矯姝講師(上海工程技術大学)、張栄紅、楊雅舒、松本未希子、陳瑶瑶、角松。予備調査: 2023 年 2 月(参加者: 矯姝))。

4.研究成果

4.1 国際ワークショップ等の開催

- 4.1.1 東アジア土地収用制度ワークショップ(2019年3月2日、神戸大学)
 - (1)角松生史(神戸大学大学院法学研究科教授)「日本土地収用法における『私益収用』と生活再建補償」
 - (2)楊雅舒(大阪学院大学)「中国における収用と補償」
 - (3)李明芝(大阪大学(当時))「台湾の土地収用制度における公共利益の認定について」
 - (4)ソ·ヌリ(神戸大学(当時))「私人のための公用収用における『公共の必要』の意義 韓国憲 法裁判所判例を素材に」
 - (5)松本未希子(神戸大学(当時)「中国における『基層群衆性自治組織』の法的統制」

4.1.2 アジア法社会学会大会(ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan)パネル"Land Expropriation in 4 East Asian Jurisdictions (Japan, Korea, Taiwan, and China) in an Era of Population Decline (2019.12.13,大阪大学)

- (1)KADOMATSU Narufumi, Kobe University
- "Takings for private Use" and "compensation for the maintenance of living standards" in Japanese Land Expropriation Law
- (2)YOO Jin-Sik, Chonbuk National University Law School

What makes it possible that a private party can expropriate a person from an estate in Korea?

- (3)LEE Ming-Chih, Osaka University Graduate School of Law(当時) On the Issue of Public Interest in Zone Expropriation in Taiwan
- 4.1.3 国際シンポジウム「都市計画と収用ー東アジア 4 法域の比較」(2023.12.15,台北・国立政治大学)(台湾・国立政治大学と共催)
 - (1) 渕圭吾(神戸大学)「日本における財産権保障に関する「通説」の形成過程-田中二郎の「公法上の損失補償」という考え方を中心に」
 - (2)角松生史(神戸大学)「縮小社会における土地収用の公共性ー日本における所有者不明土地法をめぐって」
 - (3)ソ・ヌリ(神戸大学(当時)「韓国における私人のための収用:その運用と問題点」
 - (4) 李明芝(国立政治大学)「台湾土地収用の司法審査について」
 - (5)張栄紅(中京大学)「中国における土地収用制度の改革」

4.2 著書·雑誌特集

特筆すべきものを以下に掲げる。今後、4.1.3の国際シンポジウムの成果公表も予定している。

- (1)神戸法学雑誌 69 巻 2 号に、上記 4.1.1 東アジア土地収用制度ワークショップの成果を公表した
- (2)金子由芳教授(神戸大学)、Brian Z.Tamanaha 教授(ワシントン大学セントルイス校教授)と共同で編集した著書 Yuka Kaneko/Narufumi Kadomatsu/Brian Z. Tamanaha, Land Law and Disputes in Asia:In Search of an Alternative for Development(Routledge,2021.9)に上記アジア法社会学会大会パネルの成果をまとめた。また中国の章を追加した。上記書籍第 2 部(Land taking for "development" and beyond)(第 5 章(角松)、第 6 章(兪/ソ)、第 7 章(李)、第 8 章(矯/楊))及び同書第 3 部第 9 章(高村)、第 12 章(松本))。開発法学の視点からアジア諸国における所有権と土地紛争を分析する同書第 1 部・第 4 部、コモンズ論との関係に着目して分析する第 3 部と並べることで、本研究の成果をより広い文脈に位置づけて国際的に発信することができた。
- (3)2019 年 12 月 に 行 っ た 韓 国 ・ 済 州 島 現 地 調 査 の 成 果 に つ い て 、上 記 Kaneko/Kadomatsu/Tamanaha 第 6 章に加えて、 髙希麗 「韓国・済州道における土地収用 : 西帰浦市イェレ洞リゾート型住居団地訴訟を事例として」 (神戸法学雑誌 71 巻 4 号) に公表した。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計62件(うち査読付論文 2件/うち国際共著 8件/うちオープンアクセス 22件)

CARDINAL HOLIT () DEWITHING THE PUBLISHED OF PUBLISHED TO PUBLISHED T	
1 . 著者名	4 . 巻
角松生史	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
第3章「都市空間管理法制における管轄と制御ー空き家対策を素材として」	2024年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
内海麻利編著『縮減社会の管轄と制御 』(法律文化社)	47-73
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻
角松生史	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
第8章「ドイツの放置不動産問題をめぐる管轄と制御ー減築・被覆解除命令(建設法典179条)を中心に」?	2024年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
内海麻利編著『縮減社会の管轄と制御』(法律文化社)	196-222
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻
渕圭吾	⁹⁵⁽⁹⁾
2.論文標題	5 . 発行年
時の経過と公益の実現 : 財産権・地位等の承継と法主体をめぐって	2023年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
法律時報	87-90
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 渕圭吾	1 *
	4 . 巻 -
2 . 論文標題	-
オーストラリア憲法における「租税」及び財産権保障の対象となる「財産権」の意義Australian Tape	5 . 発行年
Manufacturers Association v Commonwealthを素材として	2024年
オーストラリア憲法における「租税」及び財産権保障の対象となる「財産権」の意義Australian Tape	5 . 発行年
オーストラリア憲法における「租税」及び財産権保障の対象となる「財産権」の意義Australian Tape Manufacturers Association v Commonwealthを素材として 3.雑誌名 中里実ほか『金融取引と課税(6)』(トラスト未来フォーラム)	- 5 . 発行年 2024年 6 . 最初と最後の頁 95-129
オーストラリア憲法における「租税」及び財産権保障の対象となる「財産権」の意義Australian Tape Manufacturers Association v Commonwealthを素材として 3.雑誌名	- 5 . 発行年 2024年 6 . 最初と最後の頁
オーストラリア憲法における「租税」及び財産権保障の対象となる「財産権」の意義Australian Tape Manufacturers Association v Commonwealthを素材として 3.雑誌名 中里実ほか『金融取引と課税(6)』(トラスト未来フォーラム) 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 5.発行年 2024年 6.最初と最後の頁 95-129 査読の有無

	1
1.著者名	4 . 巻
高村学人	-
2.論文標題	5.発行年
第4章「農山村の空間制度における管轄と制御ー農村型地域運営組織(農村RMO)を中心に」	2024年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
内海麻利編著『縮減社会の管轄と制御 』(法律文化社)	74-99
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	T
1.著者名	4 . 巻
高村学人	31(3)
2.論文標題	5 . 発行年
入会林野と所有者不明土地問題 :3 つのアンチ・コモンズという視点から	2024年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
政策科学	127-148
	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.34382/0002000616	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
. ***	4 34
1 . 著者名	4 . 巻
小野博司	3
2 *A-2+ 4# BX	5.発行年
2 . 論文標題	
四次民党记者从文上标业民政法、民体继承知为各人或其党山长期未完全市务员	
明治国家における占領地軍政法 日清戦争期からシベリア出兵期までを中心に	2023年
	2023年
3.雑誌名	2023年 6.最初と最後の頁
	2023年
3.雑誌名	2023年 6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名 法と文化の制度史	2023年 6 . 最初と最後の頁 33-69
3.雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無
3.雑誌名 法と文化の制度史	2023年 6 . 最初と最後の頁 33-69
3.雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無
3.雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無
3.雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無
3.雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著
3.雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著 -
3.雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著
3 . 雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 小野博司	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 続刊18号
3 . 雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 小野博司 2 . 論文標題	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 続刊18号 5.発行年
3 . 雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 小野博司	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 続刊18号
3.雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 小野博司 2.論文標題 五十而知天命ー「外地法制誌」と中村渉ー	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 続刊18号 5.発行年 2024年
3 . 雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 小野博司 2 . 論文標題 五十而知天命ー「外地法制誌」と中村渉ー 3 . 雑誌名	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 続刊18号 5.発行年 2024年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 小野博司 2.論文標題 五十而知天命ー「外地法制誌」と中村渉ー	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 続刊18号 5.発行年 2024年
3 . 雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 小野博司 2 . 論文標題 五十而知天命ー「外地法制誌」と中村渉ー 3 . 雑誌名	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 続刊18号 5.発行年 2024年 6.最初と最後の頁
3.雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 小野博司 2.論文標題 五十而知天命ー「外地法制誌」と中村渉ー 3.雑誌名 大警視だより	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 続刊18号 5.発行年 2024年 6.最初と最後の頁 27-28
3.雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 小野博司 2.論文標題 五十而知天命ー「外地法制誌」と中村渉ー 3.雑誌名 大警視だより 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 続刊18号 5.発行年 2024年 6.最初と最後の頁 27-28 査読の有無
3.雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 小野博司 2.論文標題 五十而知天命ー「外地法制誌」と中村渉ー 3.雑誌名 大警視だより	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 続刊18号 5.発行年 2024年 6.最初と最後の頁 27-28
3 . 雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 小野博司 2 . 論文標題 五十而知天命ー「外地法制誌」と中村渉ー 3 . 雑誌名 大警視だより 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 続刊18号 5.発行年 2024年 6.最初と最後の頁 27-28 査読の有無 無
3.雑誌名 法と文化の制度史 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 小野博司 2.論文標題 五十而知天命ー「外地法制誌」と中村渉ー 3.雑誌名 大警視だより 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	2023年 6.最初と最後の頁 33-69 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 続刊18号 5.発行年 2024年 6.最初と最後の頁 27-28 査読の有無

1 . 著者名	. 111
	4 . 巻
Narufumi Kadomatsu	8
2.論文標題	5 . 発行年
Legal countermeasures against COVID-19 in Japan: effectiveness and limits of non-coercive	2022年
measures	
	C EMLEW 0.E
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
China-EU Law Journal	18-21
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/s12689-022-00093-x	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
	49
角松生史	49
2	F 発生性
2.論文標題	5.発行年
都市空間形成における行政訴訟の役割 時間の契機から	2023年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
行政法研究	213-236
1 JAX/A WI 7 C	213-230
	無
'& U	
↑-プンアクセス	国際共著
· · · · · =· ·	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 英型な	1 4 22
1 . 著者名	4 . 巻
角松生史	113(11)
2.論文標題	5.発行年
- ・ iiiiス iii と iii ス ii と ii を ii で ii で ii で ii で ii で ii で	2022年
いは心定備4.0」といは心骨囲光学表のムベは	
	2022—
3 . 雑誌名	6 . 最初と最後の頁
3 . 雑誌名	6 . 最初と最後の頁
3.雑誌名 都市問題	6.最初と最後の頁 64-72
3 . 雑誌名 都市問題 曷載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無
3.雑誌名 都市問題	6 . 最初と最後の頁 64-72
3 . 雑誌名 都市問題 B 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無
3 . 雑誌名 都市問題 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無
3 . 雑誌名 都市問題 B 載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無
3 . 雑誌名 都市問題 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著
3 . 雑誌名 都市問題 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無
3 . 雑誌名 都市問題 引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著
3 . 雑誌名 都市問題	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著
3 . 雑誌名 都市問題 曷載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著 4.巻 53
3 . 雑誌名 都市問題 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著 4.巻 53
3.雑誌名 都市問題 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Narufumi Kadomatsu 2.論文標題 Denial of "Interpretative Discretion" in Japanese LawIs it Really Different from Chevron	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53
3 . 雑誌名 都市問題 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 Denial of "Interpretative Discretion" in Japanese LawIs it Really Different from Chevron Deference?	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著 4.巻 53
3 . 雑誌名 都市問題 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 Denial of "Interpretative Discretion" in Japanese LawIs it Really Different from Chevron Deference? 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著 4.巻 53
3 . 雑誌名 都市問題 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 Denial of "Interpretative Discretion" in Japanese LawIs it Really Different from Chevron Deference? 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著 4.巻 53 5.発行年 2022年
3.雑誌名 都市問題 「「デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 「. 著者名 Narufumi Kadomatsu 2. 論文標題 Denial of "Interpretative Discretion" in Japanese LawIs it Really Different from Chevron Deference?	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著 4.巻 53 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 都市問題 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 Denial of "Interpretative Discretion" in Japanese LawIs it Really Different from Chevron Deference? 3 . 雑誌名 Zeitschrift fuer Japanisches Recht	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著 4.巻 53 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁
3 . 雑誌名 都市問題 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 Denial of "Interpretative Discretion" in Japanese LawIs it Really Different from Chevron Deference? 3 . 雑誌名 Zeitschrift fuer Japanisches Recht	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 45-69
3 . 雑誌名 都市問題 『観 「おおおでである」 「デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 Denial of "Interpretative Discretion" in Japanese LawIs it Really Different from Chevron Deference? 3 . 雑誌名 Zeitschrift fuer Japanisches Recht 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『 『	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著 4.巻 53 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 45-69
3 . 雑誌名 都市問題 日載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 Denial of "Interpretative Discretion" in Japanese LawIs it Really Different from Chevron Deference? 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 45-69
3 . 雑誌名 都市問題 『載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 Denial of "Interpretative Discretion" in Japanese LawIs it Really Different from Chevron Deference? 3 . 雑誌名 Zeitschrift fuer Japanisches Recht 『載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 53 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 45-69
3 . 雑誌名 都市問題 『最戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 Denial of "Interpretative Discretion" in Japanese LawIs it Really Different from Chevron Deference? 3 . 雑誌名 Zeitschrift fuer Japanisches Recht 『最戦論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	6.最初と最後の頁 64-72 査読の有無 無 国際共著 4.巻 53 5.発行年 2022年 6.最初と最後の頁 45-69

1 . 著者名	4.巻
角松生史	-
2.論文標題	F 整仁在
2. 調文信題 都市計画争訟の特質と課題	5 . 発行年
部中計画学訟の行員と味趣	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
□ 日本評論日 □ 日正則他編『現代行政法講座III』(日本評論社)	79-119
1990年11970年 2016年11日 (日本印册任)	73-113
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
張栄紅	49
2.論文標題	5.発行年
中国における行政復議制度改正の動向	2023年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
行政法研究	173-194
AD THE ALL AND A STATE OF THE ADDRESS OF THE ADDRES	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
· · · · · · = · ·	国际共者
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
・ 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 	4 · 중 48
契用台(ク・スリが)	40
2.論文標題	5.発行年
収用の要件としての公益性判断と収用条項の改憲課題 : 韓国の公用収用制度の問題点と改善方策を中心に	
秋市の女主にしての公正に対断で秋市が残の以心を放在、 神田の公市水市的及の同處派に以自力来です。	2020—
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
行政法研究	91-112
132/124170	0
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
Narufumi Kadomatsu	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
Takings for private use/private interest and livelihood compensation in Japan	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Kaneko/Kadomatsu/Tamanaha(eds.),Land Law and Disputes in Asia (Routledge, 2021)	73-96
担手込みの2017では、サイン・カーが印フン	本註の左便
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.4324/9781003170600	無
ナーデンフカトフ	同 W +
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-

	4 34
1 . 著者名	4 . 巻
Jin-Sik Yoo/Noori Se	_
2.論文標題	F 整仁左
·····	5.発行年
What enables a private party to expropriate an individual from an estate in Korea?	2021年
a thirty	こ 目知し目然の声
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Kaneko/Kadomatsu/Tamanaha(eds.),Land Law and Disputes in Asia (Routledge, 2021)	97-114
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>│</u> │ 査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
10.4324/9781003170600	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国际六省 -
カーブンテンでかくはない。 人間の ブンテンでんが 四種	_
1 . 著者名	4 . 巻
	E
Ming-Chih Lee	
2.論文標題	5.発行年
·····	2021年
Public-interest requirements of zone expropriation in Taiwan	ZUZ1 T
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Kaneko/Kadomatsu/Tamanaha(eds.),Land Law and Disputes in Asia (Routledge, 2021)	115-127
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u>」</u> 査読の有無
司事が開来のJDOT (グラブルオラフエット 画が) リア 10.4324/9781003170600	無
10.432473761003170000	***
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	二
コープンプラースにはない、人はコープンプラーに対し	
1 . 著者名	4 . 巻
I. 有自由 Shu Jiao/Yashu Yang	4 · 중 -
Silu Stao/Tastiu Tang	
2.論文標題	5 . 発行年
Land expropriation and compensation in China	2021年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁

Kaneko/Kadomatsu/Tamanaha(eds.),Land Law and Disputes in Asia (Routledge, 2021)	128-146
見載絵文のDOL(デジタルオブジェクト識別子)	本誌の右冊
	 査読の有無 ##
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.4324/9781003170600	査読の有無無無
10.4324/9781003170600	無
10.4324/9781003170600 オープンアクセス	
10.4324/9781003170600	無
10.4324/9781003170600 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
10.4324/9781003170600 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	無
10.4324/9781003170600 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
10.4324/9781003170600 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Gakuto Takamura	無 国際共著 - 4 . 巻 -
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Gakuto Takamura 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年
10.4324/9781003170600 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Gakuto Takamura	無 国際共著 - 4 . 巻 -
10.4324/9781003170600 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Gakuto Takamura 2. 論文標題 Vacant properties in Japan: a new challenge for the study of the commons and land law in Asia	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年
10.4324/9781003170600 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 Gakuto Takamura 2.論文標題 Vacant properties in Japan: a new challenge for the study of the commons and land law in Asia 3.雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
10.4324/9781003170600 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Gakuto Takamura 2 . 論文標題 Vacant properties in Japan: a new challenge for the study of the commons and land law in Asia	無 国際共著 - 4.巻 - 5.発行年 2021年
10.4324/9781003170600 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Gakuto Takamura 2 . 論文標題 Vacant properties in Japan: a new challenge for the study of the commons and land law in Asia 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Gakuto Takamura 2 . 論文標題 Vacant properties in Japan: a new challenge for the study of the commons and land law in Asia 3 . 雑誌名 Kaneko/Kadomatsu/Tamanaha(eds.),Land Law and Disputes in Asia (Routledge, 2021)	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 149-165
10.4324/9781003170600 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Gakuto Takamura 2. 論文標題 Vacant properties in Japan: a new challenge for the study of the commons and land law in Asia 3. 雑誌名 Kaneko/Kadomatsu/Tamanaha(eds.),Land Law and Disputes in Asia (Routledge, 2021)	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 149-165
10.4324/9781003170600 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Gakuto Takamura 2. 論文標題 Vacant properties in Japan: a new challenge for the study of the commons and land law in Asia 3. 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 149-165
10.4324/9781003170600 オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 Gakuto Takamura 2. 論文標題 Vacant properties in Japan: a new challenge for the study of the commons and land law in Asia 3. 雑誌名 Kaneko/Kadomatsu/Tamanaha(eds.),Land Law and Disputes in Asia (Routledge, 2021) 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.4324/9781003170600	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 149-165 査読の有無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 Gakuto Takamura 2 . 論文標題 Vacant properties in Japan: a new challenge for the study of the commons and land law in Asia 3 . 雑誌名 Kaneko/Kadomatsu/Tamanaha(eds.),Land Law and Disputes in Asia (Routledge, 2021)	無 国際共著 - 4 . 巻 - 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 149-165

1. 著者名	4 . 巻
Mikiko Matsumoto	-
AA	- 78.4= -
2.論文標題	5 . 発行年
The concept of juridical personality and the autonomy of villagers' committees in China	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Kaneko/Kadomatsu/Tamanaha(eds.),Land Law and Disputes in Asia (Routledge, 2021)	200-216
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.4324/9781003170600	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-
1 . 著者名	4 . 巻
高 希麗	71-4
19. TV底	
2 . 論文標題	5.発行年
2 . 調文保超 韓国・済州道における土地収用 : 西帰浦市イェレ洞リゾート型住居団地訴訟を事例として	2022年
拜四・月川県にのける土地収出 . 四帰浦印1エレ洞リソート坐住店凹地訴訟を事例として	ZUZZ T
2 hktts/	6 見知し目後の五
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
神戸法学雑誌	1 - 45
In this is a second of the sec	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
ソヌリ	97-7
2.論文標題	5 . 発行年
韓国におけるCOVID-19対策費用回収を求める訴訟(いわゆる求償権請求)の現況と検討(1)	2021年
THE COURT OF THE C	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
自治研究	125-146
E/DW/7t	125-140
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
19単以間又のDOT (プラグルオフシェッド戦別士) なし	
4 ∪	無
オープンマクセフ	国際仕茎
オーブンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,</u>
1 . 著者名	4 . 巻
1 . 著者名 ソヌリ	4.巻 97 9
ソヌリ	97 9
ソヌリ	97 9
ソヌリ 2 . 論文標題	97 9 5 . 発行年
ソヌリ 2 . 論文標題	97 9 5 . 発行年
ソヌリ 2. 論文標題 韓国におけるCOVID-19対策費用回収を求める訴訟(いわゆる求償権請求)の現況と検討(2) 3. 雑誌名	97 9 5 . 発行年 2021年
ソヌリ 2 . 論文標題 韓国におけるCOVID-19対策費用回収を求める訴訟(いわゆる求償権請求)の現況と検討(2)	97 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
ソヌリ 2. 論文標題 韓国におけるCOVID-19対策費用回収を求める訴訟(いわゆる求償権請求)の現況と検討(2) 3. 雑誌名	97 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
ソヌリ 2. 論文標題 韓国におけるCOVID-19対策費用回収を求める訴訟(いわゆる求償権請求)の現況と検討(2) 3. 雑誌名 自治研究	97 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 125-150
ソヌリ 2. 論文標題 韓国におけるCOVID-19対策費用回収を求める訴訟(いわゆる求償権請求)の現況と検討(2) 3. 雑誌名 自治研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	97 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 125-150 査読の有無
ソヌリ 2. 論文標題 韓国におけるCOVID-19対策費用回収を求める訴訟(いわゆる求償権請求)の現況と検討(2) 3. 雑誌名 自治研究	97 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 125-150
ソヌリ 2. 論文標題 韓国におけるCOVID-19対策費用回収を求める訴訟(いわゆる求償権請求)の現況と検討(2) 3. 雑誌名 自治研究 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	97 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 125-150 査読の有無
ソヌリ 2. 論文標題 韓国におけるCOVID-19対策費用回収を求める訴訟(いわゆる求償権請求)の現況と検討(2) 3. 雑誌名 自治研究 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	97 9 5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 125-150 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
<u> </u>	Dec-73
~~ ~	
그 ¹ 스	r 28/=/=
2 . 論文標題	5 . 発行年
日本の相続税の特質とその問題点	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
法曹時報	1月23日
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
4.0	////
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 英学夕	4 . 巻
1 . 著者名	
TAKAMURA, Gakuto Nishide, Takashi, Kanazawa, Yusuke, & Hayashi, Masahide	15(1)
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
2 . 論文標題	5 . 発行年
Bundle of Rights Reversed: Anticommons in a Japanese Common Property Forest Due to Legalization	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
International Journal of the Commons	
international Journal of the commons	259-275
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.5334/ijc.1080	有
10.000-77130.1000	Ħ
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 ***	4 **
1.著者名	4 . 巻
TAKAMURA, Gakuto	109
2 論文趣頭	5 発行在
2 . 論文標題	5 . 発行年
2 . 論文標題 La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon	5 . 発行年 2021年
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon	2021年
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon	2021年
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon	2021年
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名	2021年 6 . 最初と最後の頁
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3 . 雑誌名 Droit et Societe	2021年 6.最初と最後の頁 695 712
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3 . 雑誌名 Droit et Societe	2021年 6 . 最初と最後の頁
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3 . 雑誌名 Droit et Societe	2021年 6.最初と最後の頁 695 712
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 高村学人	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3 . 雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 高村学人 2 . 論文標題	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号 5.発行年
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 高村学人	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 高村学人 2.論文標題	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号 5.発行年
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 高村学人 2.論文標題 所有の排他性と過少利用問題 一権利の東としての所有権	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号 5.発行年 2021年
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 高村学人 2.論文標題 所有の排他性と過少利用問題 一権利の束としての所有権 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 高村学人 2.論文標題 所有の排他性と過少利用問題 一権利の東としての所有権	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号 5.発行年 2021年
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3 . 雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 高村学人 2 . 論文標題 所有の排他性と過少利用問題 一権利の束としての所有権 3 . 雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3 . 雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 高村学人 2 . 論文標題 所有の排他性と過少利用問題 一権利の束としての所有権 3 . 雑誌名 地域開発	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 14-17
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3 . 雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 高村学人 2 . 論文標題 所有の排他性と過少利用問題 一権利の束としての所有権 3 . 雑誌名 地域開発	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 14-17
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3. 雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1. 著者名 高村学人 2. 論文標題 所有の排他性と過少利用問題 一権利の束としての所有権 3. 雑誌名 地域開発	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 14-17
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3.雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 高村学人 2.論文標題 所有の排他性と過少利用問題 一権利の束としての所有権 3.雑誌名	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 14-17
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3 . 雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 高村学人 2 . 論文標題 所有の排他性と過少利用問題 一権利の束としての所有権 3 . 雑誌名 地域開発	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 14-17 査読の有無 無
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3 . 雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 高村学人 2 . 論文標題 所有の排他性と過少利用問題 一権利の束としての所有権 3 . 雑誌名 地域開発	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 14-17
La conscience juridique aux Etats-Unis:receptions comparees en France et Japon 3 . 雑誌名 Droit et Societe 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 高村学人 2 . 論文標題 所有の排他性と過少利用問題 一権利の束としての所有権 3 . 雑誌名 地域開発	2021年 6.最初と最後の頁 695 712 査読の有無 無 国際共著 - 4.巻 638号 5.発行年 2021年 6.最初と最後の頁 14-17 査読の有無 無

	1
1.著者名	4 . 巻
高村学人・山下詠子	42
0 *A	F 7%/- F
2 . 論文標題	5 . 発行年
全国アンケートから見る入会林野整備の今日的課題と新たな政策動向の法的論点ーなお入会林野近代化法	2022年
が必要な場面はどこにあるか?	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
入会林野研究	5月28日
/ CATIFACTOR	0,3201
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u> </u> 査読の有無
10.32192/forestcommons.42.0_5	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1 . 著者名	4 . 巻
	222-1
角松 生史	222-1
2.論文標題	5.発行年
2 : 闖ス(()) 指定管理者による公の施設の管理と国家賠償責任の所在	2020年
1月に日任日による公Vの他政の日廷と国外后便具任の所任	2020 年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
国民経済雑誌	49-68
日 トクルナバン Alt Min	15 00
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている (また、その予定である)	
1.著者名	4 . 巻
Narufumi Kadomatsu	-
National Madelina Cod	
2 . 論文標題	5.発行年
Emergence of Unoccupied House Problem in Japan and Legal Measures Towards This Issue	2020年
Emergence of unoccupred nouse Frontem in Japan and Legal measures lowards line issue	20204
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Kadomatsu et al., Legal Responses to Vacant Houses: An International Comparison, Springer	1-15
nadomated of al., Legal neopolises to vacant houses. All litternational comparison, opiniger	1-10
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.1007/978-981-15-6641-7_1	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1 . 著者名	該当する
1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu	4.巻
1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題	4 . 巻 - 5 . 発行年
1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu	4.巻
1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 The Tragedies of the Commons and Anticommons in an Era of Underuse	4.巻 - 5.発行年 2020年
1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 The Tragedies of the Commons and Anticommons in an Era of Underuse 3 . 雑誌名	4 . 巻 - 5 . 発行年
1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 The Tragedies of the Commons and Anticommons in an Era of Underuse	4.巻 - 5.発行年 2020年
1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 The Tragedies of the Commons and Anticommons in an Era of Underuse 3 . 雑誌名	4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 The Tragedies of the Commons and Anticommons in an Era of Underuse 3 . 雑誌名 Kadomatsu et al., Legal Responses to Vacant Houses: An International Comparison, Springer	4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 61-81
1. 著者名 Narufumi Kadomatsu 2. 論文標題 The Tragedies of the Commons and Anticommons in an Era of Underuse 3. 雑誌名 Kadomatsu et al., Legal Responses to Vacant Houses: An International Comparison, Springer 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 61-81 査読の有無
1 . 著者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 論文標題 The Tragedies of the Commons and Anticommons in an Era of Underuse 3 . 雑誌名 Kadomatsu et al., Legal Responses to Vacant Houses: An International Comparison, Springer	4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 61-81
1. 著者名 Narufumi Kadomatsu 2. 論文標題 The Tragedies of the Commons and Anticommons in an Era of Underuse 3. 雑誌名 Kadomatsu et al., Legal Responses to Vacant Houses: An International Comparison, Springer 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.1007/978-981-15-6641-7_5	4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 61-81 査読の有無
1. 著者名 Narufumi Kadomatsu 2. 論文標題 The Tragedies of the Commons and Anticommons in an Era of Underuse 3. 雑誌名 Kadomatsu et al., Legal Responses to Vacant Houses: An International Comparison, Springer 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	4 . 巻 - 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 61-81 査読の有無

1.著者名	4 . 巻
Narufumi Kadomatsu	50
	5.発行年
The Formation of Regional Spaces by Agreements	2020年
	6.最初と最後の頁
Zeitschrift f?r Japanisches Recht	49-63
201100/1111 1.11 dupumbondo Noont	40 00
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし 	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	該当する
1.著者名	4 . 巻
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	-
2 . 論文標題	5 . 発行年
「管理型」都市計画法制について	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
三理格 / 内海麻利編『縮退の時代の「管理型」都市計画』(第一法規)	44-54
	44-54
	本注の左师
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
高村学人	-
2.論文標題	5.発行年
縮退実施のための協働的プランニングと土地所有権	2021年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
同上	256-269
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1,著者名	4 . 巻
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	93巻1号
2 . 論文標題	5 . 発行年
法人論から見た人口減少地域の再編 一近世化する現代日本	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
法律時報	29-34
/ A → ™ TIX	23-34
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	

1.著者名	 4.巻
- 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	4.号 41号
回13子/、田 Lay J	717
2.論文標題	5 . 発行年
表題部所有者不明土地適正化法の入会地へのインパクトと求められる探索的調査	2021年
0 1824 d	c = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
入会林野研究	2月15日
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
10.32192/forestcommons.41.0_2)	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
西出崇・高村学人	37号
	_
2 . 論文標題	5 . 発行年
アンチ・コモンズ理論に基づく入会林野の過少利用要因の検証 - 2000年農林業センサス慣行共有調査の	2021年
アンデ・コモンス理論に基づく八芸体野の過少利用委囚の検証 - 2000年長林業センリス慎行共有調査の 個票データ分析	2021 1
10 京データカ州 3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
立命館大学政策科学会RPSPPディスカッションペーパー	1-45

掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
張栄紅	87巻3号
2.論文標題	5 . 発行年
中国における行政的ブラックリスト制度	2020年
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
法政研究	309-343
/ADX WI 7C	309-343
l l	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査 読の 有無
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.15017/4151229	査読の有無無
10.15017/4151229	無
10.15017/4151229 オープンアクセス	
10.15017/4151229	無
10.15017/4151229 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
10.15017/4151229 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	無 国際共著 - 4.巻
10.15017/4151229 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
10.15017/4151229 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	無 国際共著 - 4.巻
10.15017/4151229 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	無 国際共著 - 4.巻
10.15017/4151229 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名	無 国際共著 - 4.巻 92巻7号
10.15017/4151229 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 渕圭吾	無 国際共著 - 4.巻 92巻7号 5.発行年
10.15017/4151229 オープンアクセス 1.著者名 渕圭吾 2.論文標題 所有者不明土地・手続保障・固定資産税(上)	無 国際共著 - 4.巻 92巻7号 5.発行年 2020年
10.15017/4151229 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 渕圭吾 2.論文標題 所有者不明土地・手続保障・固定資産税(上) 3.雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 92巻7号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
10.15017/4151229 オープンアクセス 1.著者名 渕圭吾 2.論文標題 所有者不明土地・手続保障・固定資産税(上)	無 国際共著 - 4.巻 92巻7号 5.発行年 2020年
10.15017/4151229 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 渕圭吾 2.論文標題 所有者不明土地・手続保障・固定資産税(上) 3.雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 92巻7号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁
10.15017/4151229 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 渕圭吾 2.論文標題 所有者不明土地・手続保障・固定資産税(上) 3.雑誌名 法律時報92巻7号	無 国際共著 - 4 . 巻 92巻7号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 87-93
10.15017/4151229 オープンアクセス 1.著者名 渕圭吾 2.論文標題 所有者不明土地・手続保障・固定資産税(上) 3.雑誌名 法律時報92巻7号 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	無 国際共著 - 4 . 巻 92巻7号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 87-93
10.15017/4151229 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 渕圭吾 2.論文標題 所有者不明土地・手続保障・固定資産税(上) 3.雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 92巻7号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 87-93
10.15017/4151229 オープンアクセス 1.著者名 渕圭吾 2.論文標題 所有者不明土地・手続保障・固定資産税(上) 3.雑誌名 法律時報92巻7号 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)なし	無 国際共著 - 4 . 巻 92巻7号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 87-93
10.15017/4151229 オープンアクセス 1.著者名 渕圭吾 2.論文標題 所有者不明土地・手続保障・固定資産税(上) 3.雑誌名 法律時報92巻7号 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	無 国際共著 - 4 . 巻 92巻7号 5 . 発行年 2020年 6 . 最初と最後の頁 87-93

1 . 著者名 渕圭吾	
	4 . 巻
	92巻8号

2 *^-	5 7V/- F
2 . 論文標題	5 . 発行年
所有者不明土地・手続保障・固定資産税(下)	2020年
	·
2 1454-0	6 見知し見後の声
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
法律時報	87-93
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	711
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	_
7 7777 (\$72, 60)	
1.著者名	4 . 巻
松本未希子	18
似乎不怖于	10
2 . 論文標題	5 . 発行年
中国における法人概念と村民委員会の自治	2020年
下凹にのこの大人へでいた女具女の日泊	20204
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
社会体制と法	96-108
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	木芸の左無
	査読の有無
なし	
オープンアクセス	
· · · · · · = · ·	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	'
4 ***	1 4 344
1.著者名	4 . 巻
ソ ヌリ	67(1 • 2)
ソ ヌリ	67(1 · 2)
2.論文標題	5.発行年
2.論文標題	5.発行年
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法 : Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介	5.発行年 2021年
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法 : Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名	5.発行年
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法 : Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法 : Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介	5.発行年 2021年
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法 : Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集.法学政治学篇	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法 : Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集.法学政治学篇	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 角松 生史	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 角松 生史 2.論文標題	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 角松 生史	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 角松 生史 2.論文標題	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年 2019年
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628オープンアクセスオープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 角松 生史2.論文標題 都市再生法上の協定と「公共」への参加	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年 2019年
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 角松 生史 2.論文標題 都市再生法上の協定と「公共」への参加 3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628オープンアクセスオープンアクセスとしている(また、その予定である)1.著者名 角松 生史2.論文標題 都市再生法上の協定と「公共」への参加	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年 2019年
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 角松 生史 2.論文標題 都市再生法上の協定と「公共」への参加 3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 角松 生史 2.論文標題 都市再生法上の協定と「公共」への参加 3.雑誌名	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 角松 生史 2.論文標題 都市再生法上の協定と「公共」への参加 3.雑誌名 法律時報	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 25-31
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 角松 生史 2.論文標題 都市再生法上の協定と「公共」への参加 3.雑誌名 法律時報 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 25-31
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 角松 生史 2.論文標題 都市再生法上の協定と「公共」への参加 3.雑誌名 法律時報	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 25-31
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 角松 生史 2.論文標題 都市再生法上の協定と「公共」への参加 3.雑誌名 法律時報 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 25-31
2 . 論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3 . 雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 角松 生史 2 . 論文標題 都市再生法上の協定と「公共」への参加 3 . 雑誌名 法律時報 場載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 25-31 査読の有無 無
2 . 論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3 . 雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス 1 . 著者名 角松 生史 2 . 論文標題 都市再生法上の協定と「公共」への参加 3 . 雑誌名 法律時報 掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)なし オープンアクセス	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 25-31
2.論文標題 潜在的不正義」に対する応答としての災害法: Kristian Cedervall Lauta, "Disaster Law" 紹介 3.雑誌名 六甲台論集. 法学政治学篇 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.24546/81012628 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1.著者名 角松 生史 2.論文標題 都市再生法上の協定と「公共」への参加 3.雑誌名 法律時報 場載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	5 . 発行年 2021年 6 . 最初と最後の頁 145-182 査読の有無 無 国際共著 - 4 . 巻 91-11 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 25-31 査読の有無 無

1.著者名	4 . 巻
角松 生史	69-2
2 \$6.45 4\$ 15	F 発仁左
2.論文標題	5.発行年
日本土地収用法における「私益収用」と「生活補償」	2019年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
一神戸法學雑誌	
神尸法学雜誌	196-242
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
 オープンアクセス	日欧サギ
	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
	_
1. 著者名	4 . 巻
	_
楊雅舒	69-2
2.論文標題	5 . 発行年
中国における収用と補償	2019年
	2010-
2 1944	C 840 L 8 W 6 E
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
神戸法學雑誌	243-268
「根据公立のDOL / ごごね II ナゴご - カ L 逆叫 Z \	本性の方無
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
オーノファクセへこしている(また、ての予定ものる)	
1.著者名	4 . 巻
李明芝	69-2
3 132	
2 5会分種時	c ※//
2 . 論文標題	5.発行年
台湾の土地収用制度における公共利益の考察 : 区段収用を中心に	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
** *** * *	
神戸法學雑誌	269-312
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
19 #AUIII	査読の有無
なし	査読の有無 無
なし	無
なし オープンアクセス	無国際共著
なし	無
なし オープンアクセス	無国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	無 国際共著 該当する
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ 2 . 論文標題	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2 5 . 発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ 2 . 論文標題 私人のための公用収用における「公共の必要」の意義: 韓国憲法裁判所判例を素材に	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2 5 . 発行年 2019年
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ 2 . 論文標題 私人のための公用収用における「公共の必要」の意義: 韓国憲法裁判所判例を素材に 3 . 雑誌名	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2 5 . 発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ 2 . 論文標題 私人のための公用収用における「公共の必要」の意義: 韓国憲法裁判所判例を素材に 3 . 雑誌名	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2 5 . 発行年 2019年
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ 2 . 論文標題 私人のための公用収用における「公共の必要」の意義: 韓国憲法裁判所判例を素材に	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ 2 . 論文標題 私人のための公用収用における「公共の必要」の意義: 韓国憲法裁判所判例を素材に 3 . 雑誌名	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ 2 . 論文標題 私人のための公用収用における「公共の必要」の意義: 韓国憲法裁判所判例を素材に 3 . 雑誌名 神戸法學雑誌	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 313-369
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ 2 . 論文標題 私人のための公用収用における「公共の必要」の意義: 韓国憲法裁判所判例を素材に 3 . 雑誌名 神戸法學雑誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 313-369
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ 2 . 論文標題 私人のための公用収用における「公共の必要」の意義: 韓国憲法裁判所判例を素材に 3 . 雑誌名 神戸法學雑誌	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 313-369
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ 2 . 論文標題 私人のための公用収用における「公共の必要」の意義: 韓国憲法裁判所判例を素材に 3 . 雑誌名 神戸法學雑誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 313-369
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ 2 . 論文標題 私人のための公用収用における「公共の必要」の意義: 韓国憲法裁判所判例を素材に 3 . 雑誌名 神戸法學雑誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 313-369 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ 2 . 論文標題 私人のための公用収用における「公共の必要」の意義: 韓国憲法裁判所判例を素材に 3 . 雑誌名 神戸法學雑誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし オープンアクセス	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 313-369 査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 ソヌリ 2 . 論文標題 私人のための公用収用における「公共の必要」の意義: 韓国憲法裁判所判例を素材に 3 . 雑誌名 神戸法學雑誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	無 国際共著 該当する 4 . 巻 69-2 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 313-369 査読の有無 無

1.著者名	4 . 巻
松本未希子	69-2
2.論文標題	5.発行年
中国における「基層群衆性自治組織」の法的性質 : 「行政主体」論による公私の二分化?	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
神戸法學雑誌	371 - 407
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
+ = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	国際共業
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	該当する
1 节型力	4 . 巻
1 . 著者名	4. 仓
小野博司	-
2. 論文標題	5.発行年
2.調又信題 満洲国親属継承法と林鳳麟	2020年
/門/川 一小が	2020+
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3・**E100日 瀧口剛編『近現代東アジアの地域秩序と日本』(大阪大学出版会)	207-242
	201-242
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	<i>~</i>
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
高村学人	91-11
2 . 論文標題	5.発行年
共通財という新たな所有権論	2019年
2 404 5	C 2471 2 // 2 T
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
法律時報	13-18
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1.著者名	4 . 巻
高村学人	40
2 . 論文標題	5 . 発行年
所有者不明土地問題と入会権	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
入会林野研究会	5-20
<u> </u>	
しる製造なのいに(ナジタルオージェクト戦制子)	査読の有無
なし	無
なし	無

1 . 著者名 角松生史	4 . 巻
用位主义	
2. 論文標題	5 . 発行年
過少利用時代におけるコモンズの悲劇とアンチ・コモンズの悲劇	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
野呂充/岡田正則/人見剛/石崎誠也編『現代行政とネットワーク理論』(法律文化社)	143-170
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 *****	4 244
1.著者名 小野博司	4. 巻 19
小野博司	19
2.論文標題	5.発行年
日本統治期台湾の経済社会法に関する覚書	2019年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
法政策学の試み	51-76
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本芸の左仰
均載mm又のDOT(デンタルオフシェクトmin) なし	査読の有無 無
<i>'</i> & <i>U</i>	///
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
小野博司	68(3)
2	F 324=/=
2 . 論文標題 海軍占領期南洋群島の法概論	5 . 発行年
/ 学里 白 視 期 的 / 干 矸	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
神戸法学雑誌	37-101
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
1 . 著者名	4 . 巻
Gakuto TAKAMURA	32
2.論文標題	5 . 発行年
Le contentieux de l'environnement par le droit coutumier sur les biens communaux	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
3.維誌台 Les Cahiers du GRIDAUH	6 . 取例と取後の貝 81-97
LOS VAITIGIS UN UNIDAUT	01-31
掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
	i l
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

1 . 著者名	4 . 巻
高村学人	26巻4号
2 . 論文標題	5 . 発行年
所有者不明土地問題を問い直す ーアンチ・コモンズ論からの問題再定義	2018年
3.雑誌名 土地総合研究	6 . 最初と最後の頁 72-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著

[学会発表]	計56件	(うち招待講演	16件 / うち国際学会	44件`
しナム元収!			「い」ノン国际テム	7711

1 . 発表者名

Narufumi Kadomatsu

2 . 発表標題

The Unclaimed Land Issue in Japan and the Tragedy of the Anticommons

3 . 学会等名

南京大学法学院学術系列講座第216回(招待講演)(国際学会)

4 . 発表年 2023年

1.発表者名

角松生史

2 . 発表標題

縮小社会における土地収用の公共性ー日本における所有者不明土地法をめぐって

3 . 学会等名

都市計画と収用 - 東アジア4法域の比較(国際学会)

4.発表年

2023年

1.発表者名

Narufumi Kadomatsu

2 . 発表標題

The Unclaimed Land Issue in Japan

3.学会等名

上海交通大学中国法と社会研究院(法と学際サロン22)(招待講演)(国際学会)

4.発表年

2024年

1. 発表者名
<mark>渕圭吾</mark>
2. 発表標題
グローバル化の中の租税法律主義:憲法84条の意義に関する一考察
3 . 学会等名
全国憲法研究会(招待講演)
4. 発表年
2023年
1.発表者名
1 - 光衣音句
ᇰᇫᆇᄺᄧ
2 . 発表標題 日本における財産権保障に関する「通説」の形成過程:田中二郎の「公法上の損失補償」という考え方を中心に
日平にのける別注催体操に関する「地球」の形成地柱・田中二郎の「公本工の損失補限」というちん力を中心に
3 . 学会等名
都市計画と収用 - 東アジア4法域の比較(国際学会)
2023年
1.発表者名
渕圭吾
2.発表標題
憲法29条3 項に関する考察の中間報告
3.学会等名
う・チェザも 神奈川大学法学研究所研究交流型共同研究「公益の実現と法:社会において法が果たす役割」2023年度第2回研究会
4.発表年
2024年
1.発表者名
高村学人
2.発表標題
土地・建物の過少利用問題と所有権モデル
3. 学会等名
政治経済学・経済史学会 共通論題「都市と土地所有ー歴史と現状から」(招待講演)
4.発表年
2023年

1.発表者名
高村学人
2 . 発表標題
所有者不明土地問題の再検証ー法社会学的調査の不在が意味するもの
3 . 学会等名
日本法社会学会ミニシンポジウム「所有者不明土地問題の再検討:入会林野研究、被災者生活復興、法と開発の視点から」
4 · 元农中
2020 1
1.発表者名
張栄紅
中国における土地収用制度の改革
3.学会等名
都市計画と収用 - 東アジア4法域の比較(国際学会)
4 . 発表年
2023年
1.発表者名
Tan Act of Grant
JEVI VIII.
2 . 光衣標題 中国における行政公益訴訟
3.学会等名
第529回行政判例研究会
2024年
1. 発表者名
小野博司
2.発表標題
試論東亞近代法史:以日本與台灣為中心
3.学会等名
日本的法社会學及法史學研究動向 研討會(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2023年
2020 *

1.発表者名
ソヌリ
2.発表標題
韓国における私人のための収用:その運用と問題点
特国にのける個人のための状況、この産用と同庭系
3.学会等名
都市計画と収用 - 東アジア4法域の比較(国際学会)
4.発表年
2023年
20234
1.発表者名
李明芝
2.発表標題
台湾土地収用の司法審査について
3 . 学会等名
都市計画と収用 - 東アジア4法域の比較(国際学会)
4 V=r
4. 発表年
2023年
1.発表者名
角松生史
MIALX
2. 発表標題
被災者支援の基礎理論
3.学会等名
第10回洪水リスク管理に関する研究会
4 . 発表年
2023年
1.発表者名
角松生史
2 . 発表標題
田村報告へのコメント - メタファとしての財産権
2 244
3.学会等名
ワークショップ「財産権というレトリック・メタファ」
4 . 発表年
2023年

A District
1.発表者名
Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題
Legal countermeasures against COVID-19 in Japan: Between voluntariness and coercion
Legal countermeasures against 60715-13 in Japan. Detween voruntar mess and coefficient
3 . 学会等名
BANGI SALAD2023 (国際学会)
Differ of Electric (Electric Electric E
4 . 発表年
2023年
2020-
1. 発表者名
角松生史
用松王丈
2. 発表標題
都市空間形成における行政訴訟の役割 時間の契機から
即川王间が成にのける江東郡路の大路が、
3 . 学会等名
公開シンポジウム「訴訟類型の多様化と個別行政法」(招待講演)
ム州ノンホンフム - M-M 茨圭 V ジ 1水 10 こ 回 か 11 以 A 」 (10 17 時 次)
4.発表年
2022年
20224
1
1.発表者名
1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu
Narufumi Kadomatsu
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim/Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings"
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform " & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim/Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings"
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会)
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会)
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会)
2. 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3. 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference(招待講演)(国際学会)
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演)(国際学会) 4 . 発表年 2022年
2. 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3. 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference(招待講演)(国際学会)
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演)(国際学会) 4 . 発表年 2022年
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演)(国際学会) 4 . 発表年 2022年
2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演)(国際学会) 4 . 発表年 2022年 1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2022年 1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題
2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演)(国際学会) 4 . 発表年 2022年 1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2022年 1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2022年 1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)IIjoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2022年 1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Takings for Private Interest and Livelihood Compensation in Japan
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2022年 1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Takings for Private Interest and Livelihood Compensation in Japan
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)IIjoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2022年 1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Takings for Private Interest and Livelihood Compensation in Japan
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park 'Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2022年 1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Takings for Private Interest and Livelihood Compensation in Japan 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会)
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2022年 1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Takings for Private Interest and Livelihood Compensation in Japan 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park 'Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2022年 1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Takings for Private Interest and Livelihood Compensation in Japan 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会)
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Comments on:(1)Iljoong Kim, "Takings in Korea: Research for Thirty Years and Lessons for Reform" & (2) Hyunseok Kim /Sungkyu Park "Just Compensation in Korea's Land Takings" 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年 2022年 1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 Takings for Private Interest and Livelihood Compensation in Japan 3 . 学会等名 Asian Law and Economics Association Annual Conference (招待講演) (国際学会) 4 . 発表年

1.発表者名
Narufumi Kadomatsu
2. 水土4
2.発表標題
How can the land law address "underuse" issues?-the case of Japan
3.学会等名
コ・チムサロ LAW AND DEVELOPMENT IN A TIME OF CRISES " INTERNATIONAL CONFERENCE (National Legal Institute, Mongolia)?(招待講演)(国際学
EAN AND DEVELOPMENT IN A TIME OF CRISES INTERNATIONAL CONFERENCE (National Legal Institute, mongoria): (珀奇嶼) (国际子 会)
4 . 発表年
2022年
=
1.発表者名
Narufumi Kadomatsu
2.発表標題
The Tragedies of Commons and the Tragedies of Anticommonsin an Era of Underuse
3.学会等名
Kobe SALAD Online 2022(国際学会)
4.発表年
2022年
1.発表者名
Narufumi Kadomatsu
2. 艾丰福昭
2 . 発表標題
Compensation for Vaccines in Japan- Administrative Relief System and Court Cases
3.学会等名
3 . 子云守石 WS"Liability and No-fault Compensation Systems for Vaccines"?(国際学会)
iio Liability and iio-tautt oompensation systems for vaccines !(国际子云)
4 . 発表年
2022年
LVLL-T
1.発表者名
1. 光极有石 角松生史
四14工头
2.発表標題
水害と国家賠償
3.学会等名
河川財団・水害研究会勉強会(招待講演)
4.発表年
2022年

1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2 . 発表標題 The Tragedies of Commons and the Tragedies of Anticommons in an Era of Underuse
3.学会等名 中国政法大学法学院 " 公法与治理 " 系列講座第二十八期(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2022年
1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2 . 発表標題 Takings for private use/private interest and livelihood compensation in Japan
3 . 学会等名 Book Launching Seminar "Land Law and Disputes in Asia: In Search of an Alternative for Development"(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名
Jin-Sik Yoo/Noori Se
Jin-Sik Yoo/Noori Se 2 . 発表標題
Jin-Sik Yoo/Noori Se 2 . 発表標題 What enables a private party to expropriate an individual from an estate in Korea? 3 . 学会等名
Jin-Sik Yoo/Noori Se 2 . 発表標題 What enables a private party to expropriate an individual from an estate in Korea? 3 . 学会等名 Book Launching Seminar "Land Law and Disputes in Asia: In Search of an Alternative for Development" (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Ming-Chih Lee
Jin-Sik Yoo/Noori Se 2 . 発表標題 What enables a private party to expropriate an individual from an estate in Korea? 3 . 学会等名 Book Launching Seminar "Land Law and Disputes in Asia: In Search of an Alternative for Development" (国際学会) 4 . 発表年 2021年 1 . 発表者名 Ming-Chih Lee 2 . 発表標題 Public-interest requirements of zone expropriation in Taiwan
2. 発表標題 What enables a private party to expropriate an individual from an estate in Korea? 3. 学会等名 Book Launching Seminar "Land Law and Disputes in Asia: In Search of an Alternative for Development" (国際学会) 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 Ming-Chih Lee 2. 発表標題 Public-interest requirements of zone expropriation in Taiwan
2. 発表標題 What enables a private party to expropriate an individual from an estate in Korea? 3. 学会等名 Book Launching Seminar "Land Law and Disputes in Asia: In Search of an Alternative for Development" (国際学会) 4. 発表年 2021年 1. 発表者名 Ming-Chih Lee 2. 発表標題 Public-interest requirements of zone expropriation in Taiwan

1 . 発表者名 Gakuto Takamura
2 . 発表標題 Vacant properties in Japan: a new challenge for the study of the commons and land law in Asia
3 . 学会等名 Book Launching Seminar "Land Law and Disputes in Asia: In Search of an Alternative for Development"(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1 . 発表者名 Mikiko Matsumoto
2 . 発表標題 The concept of juridical personality and the autonomy of villagers' committees in China
3 . 学会等名 Book Launching Seminar "Land Law and Disputes in Asia: In Search of an Alternative for Development" (国際学会)
4.発表年 2021年
1 . 発表者名 Narufumi Kadomatsu
2.発表標題 Denial of "interpretative discretion" in Japanese law-is it really different from Chevron deference??
3.学会等名 13th ADMINISTRATIVE LAW DISCUSSION FORUM?(国際学会)
4 . 発表年 2021年
1.発表者名 Gakuto Takamura
2.発表標題 Why do geographic and social conditions of undivided common property forests matter? : Contextualizing a Japanese case within the international commons research
3.学会等名 International Association of the Study of the Commons 2021, Forest Commons Virtual Conference(国際学会)
4 . 発表年 2021年

1.発表者名
Gakuto TAKAMURA
2
2.発表標題
Remodeling the Concept of Bundle of Rights to Consider Degrowth in a Different Way
2 24 4 15 15
3.学会等名
International Association of the Study of the Commons&RIHN Online Workshop on Commons, Post-Development and Degrowth in
Asia(招待講演)(国際学会) 4.発表年
2020年
1 . 発表者名
Narufumi Kadomatsu
2. 発表標題
The formation of regional space by agreements
The Torniatron of Tegronar Space by agreements
3.学会等名
KU Leuven– Kobe University Academic Symposium: Regulation and governance in an interdisciplinary perspective(国際学会)
4.発表年
2020年
1.発表者名
1.発表者名 Narufumi Kadomatsu
Narufumi Kadomatsu
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題
Narufumi Kadomatsu
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会)
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会)
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Yoo Jin-Sik
2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Yoo Jin-Sik
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Yoo Jin-Sik
2. 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3. 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Yoo Jin-Sik 2. 発表標題 What makes it possible that a private party can expropriate a person from an estate in Korea?
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Yoo Jin-Sik 2 . 発表標題 What makes it possible that a private party can expropriate a person from an estate in Korea?
2. 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3. 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 Yoo Jin-Sik 2. 発表標題 What makes it possible that a private party can expropriate a person from an estate in Korea?
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Yoo Jin-Sik 2 . 発表標題 What makes it possible that a private party can expropriate a person from an estate in Korea? 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会)
2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Yoo Jin-Sik 2 . 発表標題 What makes it possible that a private party can expropriate a person from an estate in Korea? 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年
Narufumi Kadomatsu 2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Yoo Jin-Sik 2 . 発表標題 What makes it possible that a private party can expropriate a person from an estate in Korea? 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会)
2 . 発表標題 "Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 Yoo Jin-Sik 2 . 発表標題 What makes it possible that a private party can expropriate a person from an estate in Korea? 3 . 学会等名 ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan (国際学会) 4 . 発表年

1.発表者名
Lee Ming-Chih
2.発表標題
On the Issue of Public Interest in Zone Expropriation in Taiwan
3.学会等名
ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
Mikiko Matsumoto
2 . 発表標題
2 . 完衣信題 Legal Personality and Management of Collectively Owned Property in China:A Study of Rural Collective Economic Organizations
Logar rersonarity and management or correctively owned rioperty. In online. A study of Kulai corrective economic organizations
3 . 学会等名
ALSA 2019 4th Annual Conference in Japan(国際学会)
4. 発表年
2019年
1.発表者名
Narufumi Kadomatsu
Naturulli Nauvillatsu
2.発表標題
"Takings for private Use" and "Compensation for Living Rights" in Japan
3 . 学会等名
3 . 子云寺石 Special Lecture: Shanghai University of Finance and Economics(国際学会)
opecial Ecotors. Unangual University of Finance and Economics (四际子云)
4.発表年
2019年
1.発表者名
Narufumi Kadomatsu
2. 改丰価時
2.発表標題 The Translation of Commons and Anticommons in an Era of Undervise
The Tragedies of Commons and Anticommons in an Era of Underuse
3.学会等名
Jagiellonian University and Kobe University Workshop: Legal Methodology - International and Comparative Perspective (国際学
숲)
4.発表年
2019年

1.発表者名
高村学人
2.発表標題
法人論からみた人口減少地域の再編 一近世化する現代日本
3 . 学会等名
NPO学会(招待講演)
4.発表年
4. 光表中 2019年
20104
1.発表者名
高村学人
2.発表標題
Cross-national study on the structure of local communities that manage the commons: Does an Asian common village community
exist?
3. 学会等名
IASC (国際学会)
4.発表年
2019年
1.発表者名
1.発表者名 高村学人
高村学人
高村学人 2 . 発表標題
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property
高村学人 2 . 発表標題
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC (国際学会)
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC (国際学会) 4 . 発表年
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC (国際学会)
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC (国際学会) 4 . 発表年 2019年
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC(国際学会) 4 . 発表年 2019年
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC (国際学会) 4 . 発表年 2019年
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC(国際学会) 4 . 発表年 2019年
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC(国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 高村学人
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC(国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 高村学人
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC(国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 高村学人
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC(国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 高村学人
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC(国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 高村学人
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 高村学人 2 . 発表標題 The Bundle of Rights Model to Explain the Underuse of Japanese Common Forest from History
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 高村学人 2 . 発表標題 The Bundle of Rights Model to Explain the Underuse of Japanese Common Forest from History 3 . 学会等名
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 高村学人 2 . 発表標題 The Bundle of Rights Model to Explain the Underuse of Japanese Common Forest from History 3 . 学会等名 ALSA (国際学会)
高村学人 2. 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3. 学会等名 IASC (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 高村学人 2. 発表標題 The Bundle of Rights Model to Explain the Underuse of Japanese Common Forest from History 3. 学会等名 ALSA (国際学会) 4. 発表年
高村学人 2 . 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3 . 学会等名 IASC (国際学会) 4 . 発表年 2019年 1 . 発表者名 高村学人 2 . 発表標題 The Bundle of Rights Model to Explain the Underuse of Japanese Common Forest from History 3 . 学会等名 ALSA (国際学会)
高村学人 2. 発表標題 New Social Dilemmas of Commons that are faced with Depopulation: Challenges and Institutional Change of Common Property Forests in Japan 3. 学会等名 IASC (国際学会) 4. 発表年 2019年 1. 発表者名 高村学人 2. 発表標題 The Bundle of Rights Model to Explain the Underuse of Japanese Common Forest from History 3. 学会等名 ALSA (国際学会) 4. 発表年

4 25 = 24.67
1 . 発表者名 張栄紅
コは小品上
2.発表標題
日本負面信息披露制度(日本におけるネガティブ情報公表制度)
ゝ . チ云寺台 中国法学会行政法学研究会第5回青年論壇・政府規制専門委員会2019年年会(国際学会)
个国况于公门以况于则九云为5四月午晡道。以则死则于门安良云2013千千云(国际于云 <i>)</i>
2019年
1.発表者名
角松生史
2.発表標題
日本土地収用法における『私益収用』と生活再建補償
東アジア収用科研ワークショップ(国際学会)
76.2.2. (Alan 1812)
4.発表年
2019年
1.発表者名
楊雅舒
ここ元代宗暦 中国における収用と補償
3.学会等名
東アジア収用科研ワークショップ(国際学会)
4. 発表年
2019年
4 改主业权
1.発表者名
李明芝
台湾の土地収用制度における公共利益の認定について
3.学会等名
東アジア収用科研ワークショップ(国際学会)
 A X主体
4.発表年 2010年
2019年

1 . 発表者名 ソ・ヌリ
2 . 発表標題 私人のための公用収用における『公共の必要』の意義 韓国憲法裁判所判例を素材に
3.学会等名 東アジア収用科研ワークショップ(国際学会)
4 . 発表年
2019年
1.発表者名
松本未希子
2.発表標題
中国における『基層群衆性自治組織』の法的統制
3.学会等名
3 . 子云寺石 東アジア収用科研ワークショップ(国際学会)
2019年
「1.発表者名
小野博司
2.発表標題
軍政法史研究の意義と課題
第31回ドイツ語圏日本史学会(国際学会)
2018年
1.発表者名
Gakuto Takamura
2.発表標題
The Theory of Anti-Commons to Explain the Underuse of Common Forest in Japan
3.学会等名
Global Land Programme 2018 Asia Conference(国際学会)
2018年

1.発表者名
Gakuto Takamura
2.発表標題
Le regard sur les etudes de la conscience du droit aux Etats-Unis et ses receptions en France par rapport a la tradition de
la sociologie du droit au Japon
2
3.学会等名 Journees d'etude RT13&Revue Droit et Societe en l'honneur du 100e n° de la revue(招待講演)(国際学会)
」 Journees a letade κτισακέναε μιστί et societe en i nombeur da 100e n. de la fevae(指付确决)(国际子云)
4.発表年
- 4 . 光衣牛 - 2019年
۷۱۱۵ ۲
1.発表者名
張栄紅
2.発表標題
日本机場噪声的行政応対和司法救済(日本における航空機騒音に対する行政的対応及び司法救済)
ロイドルシース・スパン・スパン・スパン・スペン・スペン・スペット (ロイドにのこ) A/VAVAIL HIFLVのパング、All A/VAVIL (ロイドにのこ) A/VAVIL
3.学会等名
南京航空航天大学(招待講演)
4.発表年
2018年
•
1.発表者名
張栄紅
A PARTY TATIONS
2.発表標題
中国におけるブラックリスト制度 環境行政領域を素材に
3. 学会等名
関西行政法研究会
4. 発表年
2019年
1.発表者名
Keigo Fuchi
2. 発表標題
Taxation and the Constitution: A Comparative Study of the Cases and Jurisprudence in the United States, Germany and Japan
2
3.学会等名
東京大学公法研究会(招待講演)(国際学会)
4.発表年
2019年

[図書] 計5件 1.著者名 高村学人/古積健三郎/山下詠子編著	4 . 発行年 2023年
2. 出版社 岩波書店	5.総ページ数 398
3.書名 入会林野と所有者不明土地問題ー両者の峻別と現代の入会権論	
1 . 著者名 Yuka Kaneko/Narufumi Kadomatsu/Brian Z. Tamanaha(eds.)	4.発行年 2021年
2.出版社 Routledge	5.総ページ数 328
3.書名 Land Law and Disputes in Asia : in Search of an Alternative for Development	
1.著者名 角松生史,/山本顯治/小田中直樹/窪田亜矢編	4 . 発行年 2021年
2.出版社日本評論社	5.総ページ数 336
3.書名縮小社会における法的空間ーケアと包摂	
1.著者名 小野博司	4 . 発行年 2022年
2. 出版社 大阪大学出版会	5 . 総ページ数 571

3 . 書名 近代日本の行政争訟制度

1.著者名 Narufumi Kadomatsu/James J. Kelly Jr./Romain Melot/Arne Pilniok	4 . 発行年 2020年
2.出版社	5.総ページ数
Springer	81
3.書名	
Legal Responses to Vacant Houses	

〔産業財産権〕

〔その他〕

_

6. 研究組織

6	. 研究組織			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考	
	小野 博司	大阪大学・大学院高等司法研究科・教授		
研究分担者	(Ono Hiroshi)			
	(70460996)	(14401)		
	高村 学人	立命館大学・政策科学部・教授		
研究分担者	(Takamura Gakuto)			
	(80302785)	(34315)		
	張 栄紅	中京大学・法学部・准教授		
研究分担者	(Zhang Ronghong)			
	(20737564)	(33908)		
	渕 圭吾	神戸大学・法学研究科・教授		
研究分担者	(Fuchi Keigo)			
	(90302645)	(14501)		
	楊雅舒	大阪学院大学・法学部・講師		
研究分担者	(Yang Yashu)			
1	(60843331)	(34403)		

6	5 . 研究組織(つづき)			
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考	
	兪 珍式	全北大学校・法学専門大学院・教授		
研究協力者	(Yoo Jin-Sik)			
	陳 立夫	国立政治大学・地政学系・教授		
研究協力者	(Chen Li-fu)			
	<u></u> 朱 芒	上海交通大学・法学院・教授		
研究協力者	(Zhu Mang)			
	矯 シュ	上海工程技術大学・管理学院・講師		
研究協力者	(Jiao Shu)			
	李 明芝	国立政治大学・地政学系・助理教授		
研究協力者	(Lee MIng-Chih)			
	高希麗	四天王寺大学・経営学部経営学科・講師		
研究協力者	(Koh Heeryo)			
	(50897791)	(34420)		
研究協力者	松本 未希子 (Matsumoto Mikiko)	名古屋経済大学・法学部・准教授		
	(00961343)			
研究協力者	ソ ヌリ (Se Noori)	憲法裁判所・憲法研究院・責任研究員		
	i.		l.	

6.研究組織(つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考	
	陳 瑶瑶	神戸大学・大学院法学研究科・博士課程後期課程		
	1414			
-π				
研究				
協	(Chen Yaoyao)			
協力	(Onen racyac)			
者				
		(14501)		

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計5件

(国际研九朱云) 司3件	
国際研究集会	開催年
国際シンポジウム「都市計画と収用・東アジア4法域の比較」	2023年~2023年
国際研究集会	開催年
	2023年 ~ 2023年
について)	
国際研究集会	開催年
東アジア土地収用制度に関する国際ワークショップ	2019年~2019年
国際研究集会	開催年
	2019年~2019年
China) in an Era of Population Decline (ALSA 4th Annual Meeting in OSAKA)	
国際研究集会	開催年
ワーク ショップ「財産権というレトリック・メタファ」	2023年 ~ 2023年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
韓国	全北大学校	淑明女子大學校	
中国	上海交通大学	北航法学院	上海工程技術大学
台湾	国立政治大学	中央研究院	